

# PRRS感染拡大中!!

2020年11月から2021年3月にかけて、川南町の一部地域で、PRRS（豚繁殖・呼吸器障害症候群）の発生が相次いでいます。新たな陽性事例の発生状況や検査結果等を元に、リスク分析を行っています。以下の事項を参考に、改めて農場バイオセキュリティ強化をお願いします。

## 【今回のウイルスはどこから来たのか？】

今回検出されたウイルス株は、遺伝子解析（シーケンス）の結果、これまで地域内で確認されていた株と近縁であることが分かりました。したがって、西都・児湯地域以外から新たな野外株が侵入したのではなく、**地域内のウイルス株**がまん延したと考えられます。



## 【侵入要因は？】

今回の発生地域への伝播要因は斃獣処理車両や出荷車両によるリスクが高いものと考えられます。また、地域内の公道では、堆肥が散乱していることがあるようです。さらに、発生した地域では『大量のカラスがいた』との話も聞いており、農場内の様々な場所において野鳥の糞が見られることもあります。PRRSウイルスは空気伝播する、と考えられている方がいらっしゃるかもしれませんが、獣医師部会では、以下の2点が侵入要因として可能性が高いと分析しています。

### ①車両・物による伝播

### ②野鳥などの野生動物による伝播



## 【ウイルスを侵入させないためには】

農場へのウイルス侵入ルートは様々なものが考えられます。新たな発生を防ぐために、農場外から侵入するルートを農場ごとに整理し、対策を講じる必要があります。担当の管理獣医師と、対策を確認しましょう。

## チェックリスト

### ①地域で共通する車両・人・物の再確認

- レ 共通する可能性のあるものや、農場へ受け入れるものについては必ず消毒を行きましょう。**車両消毒（特に斃獣処理車両や出荷車両）は最も重要**です。
- レ 工事業者についても他農場を訪問していることがあります。車両はもちろんのこと、可能であれば工具等含めてしっかりと消毒対応しましょう。
- レ 洗浄消毒が確実に実施されているか、フロアマット等車内の消毒ができていないか、至急点検しましょう。農場では**専用の長靴および衣服交換**を行うとともに、これらを農場のどこで行うか、検討しましょう。

### ②野生動物の対策と豚舎ごとの長靴交換等

- レ 防鳥ネットの設置や、補修を行きましょう。**野生動物（特にカラス）を死亡豚に接触させない対策も重要**です。また、農場敷地内に侵入しているかもしれないウイルスを、豚舎内に持ち込まないように、豚舎ごとに**長靴の履き替えや手指洗浄・消毒（手袋交換）等**を行きましょう。



### ③消毒薬の管理

- レ 使用する消毒薬剤の濃度を再確認しましょう。消毒薬は適正濃度以下の場合、消毒効果を期待できません。

## 最後に地域を守るために皆様へお願いです

現在、西都・児湯地域に拡大しているPRRSウイルスは**生産者の皆様やその他の関係者の皆様が一丸となって対応している結果**、大きな被害をもたらすことなく、**コントロールすることができています**。

地域株以外の病原性の高い株が地域内へ侵入した場合や、地域株が強毒株へ変異した場合、農場へ多大な被害をもたらすほか、ウイルスコントロールが非常に難しくなってしまいます。

肥育豚や種豚等を、新たな農場から導入する場合には**導入元のPRRS状況を必ず確認**してください。また、ウイルスの侵入の有無や現在のウイルス状況を確認するために必要である着地検査やモニタリング等の**検査へのご理解・ご協力**をよろしくお願い致します。

御不明な点等ございましたら、担当の管理獣医師、または宮崎家畜保健衛生所(0985-73-1377)まで御連絡ください。

